



<W主任>写真右
正職員 / 勤続9年
障害者支援施設ひかり苑所属

<S主任>写真左
嘱託職員 / 勤続3年1ヶ月
障害者支援施設ひかり苑所属

人を支えると同時に人に支えられる。 みんなの成長を助けることで自分も成長していく。 かけがえのない仕事だと思います。

人を幸せにする、という喜びを実感する。大変な時は一人でため込まずみんなと支えあう。子育てをしながら家庭と両立する極意を主任のお二人に伺いました。

※所属や業務などは取材時点の内容です。(取材日:令和6年2月)

Q.この仕事を始めたきっかけは？

<W主任>

幼少期から体を動かすことがとにかく好きで、ずっと学生時代はスポーツをやっていました。社会に出ても体を動かした仕事がしたいと思っていました。最初は電子部品会社に勤務しましたが自分には合わないと思い1年で退職しました。その後結婚して子育てが落ち着いたころ働きたいと思い始めました。体を動かすこと、そしてそれと同じぐらい人が好きで、そういった中で人の役に立ちたいという思いが生まれてきて今のこの仕事を選びました。

<S主任>

学生時代に学校に電車で通っていて、いつも自閉症の男の子が同じ電車に乗っていたんです。いつも独り言をブツブツ言っていたんですが、ある日酔っ払いに絡まれていて自分は何も出来なかったことがあって、それがきっかけで障害のある方のことをもっと知りたい、どうやったら助けることが出来たのかと考えるようになり、知的障害福祉を仕事として選びました。

Q.今の仕事の中でどんなことに気を配りながら働いていますか？

<W主任>

主に主観で物事を捉えないっていうところですね。常に相手の立場に立って物事を捉えるように自分は意識しています。

<S主任>

自分のことと置き換えて考えるようにしています。自分がされたら嫌だなとか、自分だったらこうしてほしいと考えながら仕事しています。

Q.大変だなと思ったときはどうやって乗り越えていますか？

<W主任>

とにかく愚痴を言います。ただただ吐き出したいんです。同僚であったり上司でもいいんです。とにかく喋って消化するようにしています。

<S主任>

大変な時もありますが、あまり考える方ではないのですぐに忘れてしまいます。仕事を家庭には持ち込まないように心がけていますので、仕事とプライベートをしっかり分けています。



Q.この仕事の魅力を教えてください。

<W主任>

人を支えるって今のこのような仕事に出会えなかったら経験できないことです。少しサポートがあればその方が幸せに生活が出来るって思うともっとサポートしたくなる。こんな経験は日常では味わえないですね。

<S主任>

子育てと同じで、大変なこともあります。喜怒哀楽を一緒に感じられることじゃないでしょうか。本当子育てと同じ部分が多くて、利用者の出来ることが増えると一緒に喜んで、出来なかったときは悲しんでと一緒に成長しています。

Q.これから一緒に働いてみたいという方へメッセージ！

<W主任>

チームでいろんなことを解決していく職場です。一緒に考え、一緒に成長しませんか。お待ちしております。

<S主任>

子育てしながら働くのは不安でしたが、最大限の配慮もしてもらい、仕事と家庭の両立ができています。子供を産んでからの方が分かることも多くて、そして子育てをしてきた先輩が多いのでいろんなアドバイスをもらいながら働くことができています。子育て世代でも働ける職場なので是非一緒に働きましょう！